湘南わかばグループ健康ニュース No.228 2019年7・8月号

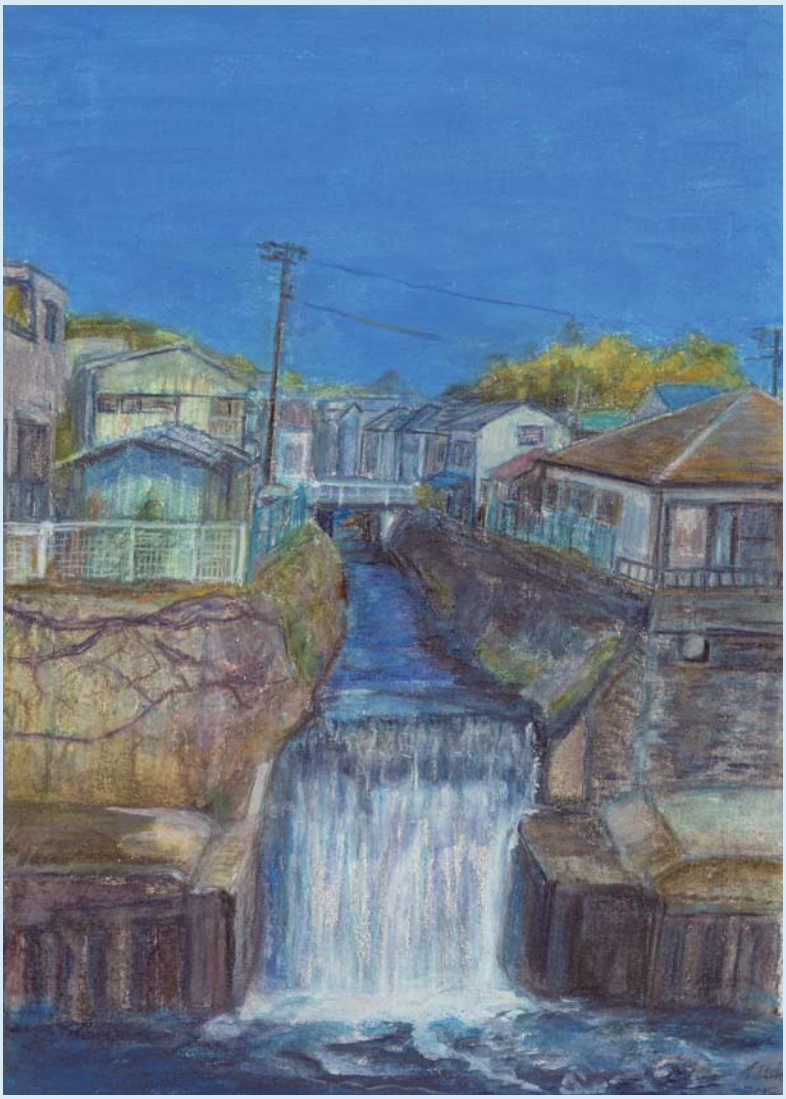
わかば

特定医療法人 社団若林会
湘南中央病院・湘南わかば苑・わかば訪問看護ステーション
若林会居宅介護支援事業所・藤沢市明治いきいきサポートセンター
（地域包括支援センター）
発行者／長田博昭　　編集責任者／呉　鐵仁
〒251－0056 藤沢市羽鳥1－3－43　Tel0466(36)8151　Fax0466(35)2886
URL http://www.swg.or.jp　E-mail wakaba@swg.or.jp

【理　念】
地域の人々とともに歩み
健康を守り良質な医療と介護を
提供します。

【基本方針】
いつでも受けられる医療と介護
地域に出る医療と介護
包括的な医療と介護
納得ずくの医療と介護

「ときのわすれもの」～住むまちの風景～



タイトル『滝　川』

藤沢橋近くの境川に滝となって流れ込む小さな川があります。滝川というこの川には様々な言い伝えがあり、上流の地域には「影取」、「鉄砲宿」といった、それにまつわる地名が残ります。遊行寺坂に向かって藤沢橋を渡り、ひとつめの角を右折すると、絵の中の小さな白い橋があります。この道は旧鎌倉道。少し先右側の「舟玉神社」は昔、江の島からこのあたりまで舟が出入りしていたことを伝えています。

（作者　伊東直昭／企画　宮原青子）

「藤沢市の成人検診」予約受付中

主な記事

医学「二人に一人はがんになる時代です ～日々進歩するがん治療～」…… 薬剤師　宮澤正幸（2）
健康フェスティバル2019開催しました …… 健康フェスティバル実行委員長　斎藤美樹（4）
一代記 或る外科医の一代記「子供の頃⑥」 …… 理事長　長田博昭（5）
エッセイ「街のリセット」…… 宮原昭夫（6）
地域「夏は大山（阿夫利山）、山開き」…… 藤澤浮世絵館　細井守（7）
こえ 投書箱から …… 統括事務部長　伊藤稔（7）

「二人に一人はがんになる時代です ～日々進歩するがん治療～」

薬局　課長　宮澤　正幸

少し前、夫婦がテニスをしながら夫が「万が一、僕が、がんになったら・・」、妻が「万が一なんて考えたくないわ・・」という会話に、「がんは、万が一じゃなく二分の一。日本人の生涯で二人に一人は、がんになると言われています」とナレーションが入るテレビCMがありました。

そんなCMを見た時、ちょっと「ドキッ」としませんか?「がん」イコール「不治の病」のイメージが強く、そして近い将来、日本人の二人に一人が「がん」になる。統計的にはまさにその通りなのですが（**左記表参照**）、実際には受け入れ難いのではないでしょうか。

主ながんに罹患する確率～累積罹患リスク
（2014 年データに基づく）がん情報サービスより改変

	生涯がん罹患リスク(%)		何人に1人か	
	男性	女性	男性	女性
全がん	62%	47%	2人	2人
胃	11%	5%	9人	19人
大腸	9%	8%	11人	13人
肝臓	3%	2%	29人	55人
肺	10%	5%	10人	22人
乳房（女性）	ー	9%	ー	11人
子宮	ー	3%	ー	33人
前立腺	9%	ー	11人	ー
悪性リンパ腫	2%	2%	50人	58人
白血病	0.90%	0.70%	106人	150人

国の政策として、「がん対策基本法」が施行されてから、すでに十年以上たちました。がん医療施設の充実、治療法への対応、相談支援、予防、早期発見など、たくさんの目標を掲げ成果を上げていますが、国民に十分に普及・啓発がされているともいえないのが現状ではないでしょうか。

では、「がん」とは実際、どの様なものでしょうか?

「がん」は「悪性新生物」とも言われています。文字だけ見ますと、どこか遠い宇宙からきた新しい生命体みたいな印象なのですが、がんは、もともと自分自身の細胞が遺伝子的な変異などが起こり、それを自分の免疫でコントロールできずにどんどん増えてしまうのが「がん細胞」です。

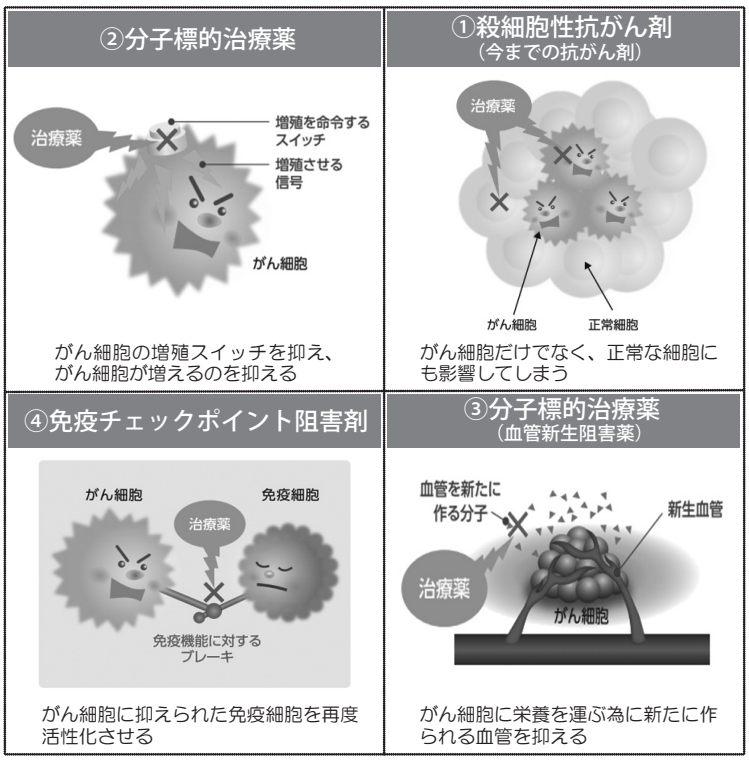
「がん」の原因はいろいろあり、喫煙など有名なものの他に、子宮頸がんはある種のウイルスが関与してることがわかっています。そのウイルスに対するワクチンを投与することでかなり予防ができますが、日本国内ではワクチンの副反応が問題となりワクチン接種が進んでいませんが、海外では成果を上げています。安全性の確認をおこない早期に子宮頸がんワクチンの再開が望まれます。また胃がんは、みなさんもご存じかと思いますが、ヘリコバクターピロリを除菌することで、リスクを減少させることがわかっています。

最近では、海外の女優が、遺伝子的に乳がんのリスクが高いことが遺伝子検査で判明し、将来の為に健康な乳房を切除したことも世界的にニュースになりましたが、よく言う「がん家系」についても、少しずつ分かってきました。

「がん」の治療は、ここ十数年でかなり進歩しました。2018年、本庶佑先生がノーベル生理学・医学賞を受賞した研究も抗がん剤の研究だったことも記憶に新しいところです。

今まで主流だった抗がん剤は、がん細胞の分裂を抑える薬（**図①**）が主流でした。その後、がん細胞の遺伝子の特徴を利用した分子標的薬（**図②③**）というジャンルの抗がん剤が併用されるようになり、抗がん剤の効果は飛躍的に上がりました。そこに、自分の免疫力をあげて、がん細胞を減らす「免疫チェックポイント阻害剤（**図④**）」が出てきました。まさに、ノーベル賞の研究です。

この「免疫チェックポイント阻害剤」の発売当初、一部のメディアでは、「副作用がなく、効果も高く、体にやさしい夢の抗がん剤が発売になった!」と報道され、混乱をきたしました。実際は、吐き気などの副作用は少ないものの、肺の炎症や甲状腺や、膵臓の機能異常など注意しなければならない副作用も多くあります。



資料：MSD　HPより改変

また、薬剤の価格が高額であった為、保険制度上、例外的に薬剤の価格の見直しがされるなどいろいろ話題にもなりました。現在では、この研究を応用して、多くのがん治療に応用されつつあります。

「がん」の治療についてもう少し解説したいと思います

「がん」治療は大きく分けて、がん細胞を直接取り除く「外科的手術（内視鏡手術なども含みます）」、放射線を利用してがん細胞を減らす「放射線療法」、注射薬や飲み薬などの抗がん剤でがん細胞を減らす「抗がん剤治療」の3つがあります。

血液の「がん」の場合は、主に「抗がん剤治療」、大腸がんや胃がんなどの臓器にできた「がん」（固形がん）は、「手術」をして見えるがん細胞を取り除いたり、放射線でがん細胞を小さくしたりします。

「抗がん剤治療」は、手術で見えるがん細胞を取り除いた後、血液やリンパにある目に見えないがん細胞を減らす為に「抗がん剤治療」を行う術後化学療法と、再発や転移などがある場合に進行を抑える治療があり、それら「抗がん剤治療」は、がん細胞を減らす（増やさない）ようにする目的で使用します。前述させていただいた通り、がん細胞はもともと自分の細胞ですので、抗がん剤を使用すると、がん細胞だけでなく、正常な細胞にも影響してしまいます。特に細胞分裂が多い、毛根、爪、味覚、消化管などに副作用が出てきます。ですので、多くの抗がん剤に、脱毛、皮膚や爪の変形、味覚が変わる、吐気などの副作用が多いのはそのためです。

十数年前は、吐気の副作用が断トツに多く、とてもつらい副作用の代表でしたが、現在では複数の吐気止めの薬剤が開発されて、それらをいくつか組み合わせることによって、吐気の副作用はかなり防ぐことができています。

また、薬剤に特徴的な副作用もわかってきていますので、予め対策をすることで副作用を軽減することもできるようになってきています。ただし、新しい抗がん剤も使用できるようになり、今までに無かったような副作用や、未知の副作用があることも現実です。

最近では、遺伝子の検査をすることで、どのような特徴があるがん細胞か、わかるようになってきていて、それに対して効果が高い薬剤を選ぶことができるようになってきました。また、一度にたくさんの遺伝子を調べる「がん遺伝子パネル検査」（まだ国内では限られた施設だけですが）をすることでそのがん細胞に適切な薬剤を選ぶ「ゲノム遺伝子治療」も行えるような政策も進んできています。

ただ、今のところは、がん免疫療法もゲノム遺伝子治療も効果的な治療ですが、「副作用もなく、がんを100％治す夢の治療」ではありませんし、費用も高額（保険がきかない治療も多いのが現状です）になってきました。

今まで行ってきた根拠のある「標準療法」もあわせて、治療を選択して行く必要があります。がんの特性だけで治療を決めるのではなく、その方の希望（生活サイクルなど）にそった治療も大切です。例えば、入院せずに外来で済む治療薬や内服薬などもいろいろ検討されていて、入院や通院の負担も以前より軽減されてきました。

がんが診断されたとき、約3割の方が「痛み」があったとの報告があります。痛みなどがんに伴う症状を抑える治療を行うことを「緩和ケア」といいます。よく、「緩和ケア」は治療が終わった後に行うものと勘違いされている方も多いのですが、症状があり難治の時は、「緩和ケア医」に相談することも可能です。

現在は、インターネットや一般的な週刊誌など、十分な科学的根拠（エビデンス）に基づいていない、いわゆる「怪しい情報」が溢れています。正しい知識、信頼のおける医師・医療者を見つけて、一つ一つ納得できるように、かつ、その方にあった治療を提供してくれる場所も予め考えておく必要があると思います。

健康フェスティバル 2019 開催しました

5月12日（日）27回目の「健康フェスティバル２０１９」を開催しました。お天気にも恵まれ、まさにフェスティバル日和でした。541名という本当にたくさんの方に来ていただき、毎年楽しみに来てくださる方も多く、健康への意識の高さを感じました。また、来場者同士で声を掛け合い、初めての方や困っている方を気遣う場面もありました。地域の暖かさにふれほほえましく思いました。

各ブースの参加人数は表を参照ください。特に人気のある「血圧測定」「体組成」「血管年齢」「骨密度」は、みなさまをスムーズにお迎えできるよう毎年工夫をしています。今回は「並ぶ際に椅子に立ったり座ったりという動作が負担」という声から、今年は体組成においては椅子を最小限に減らしました。これによってみなさまをスムーズにご案内することができました。

そして今年もふじキュン♡が遊びに来てくれました。ふじキュン♡の周りにはたくさんのひとが集まり、笑顔にあふれていました。また、バルーンアートの周りには子供たちが興味しんしん、大喜びで作品を手にしていました。

受付開始の様子

入場者数	541名
血圧測定	420名
血管年齢測定	431名
骨密度測定	452名
体組成測定	469名
医療相談	33名
健康相談	53名
お薬相談	17名
栄養相談	29名
救急車展示・AED体験	38名
ユニフォーム体験	38名
似顔絵	30名
献血	受付数：44人　献血数：39人

→体組成測定の様子

まだまだ課題はありますが、職員が力を合わせ、みなさまに笑顔と元気をお届けできるようなフェスティバルをつくっていきたいです。

健康フェスティバル実行委員会
委員長　齋藤　美樹

ふじキュン♡血圧測定

医療相談

♪来場者アンケート 感想・ご意見をいただきました♪

- 毎年来ています、これからも来たい。健康イベントが近くで受けられるのはたいへん有難いことです。
- 血管年齢は９歳も若くうれしい結果が出た。骨密度も良い結果が出て満足しています。来年もこの調子だとよいのにと思っています。
- 日ごろの努力と運動を心がけたいとお教えいただいてありがとうございました。年とともに体力の衰えがわかりました。また続けてやっていただきたいです。
- 大変好感が持てた。骨密度は１時間ほど待ったが帳消しです。
- 健康相談の方がとても親切で的確な判断でとても良かったです。
- 年々スムーズな運営になっているように感じる。
- 結果の見方のアドバイスがあるとうれしいと思います。
- 大変良い企画です。混むのが少し辛いですが・・・・。
- 子連れできました。ふじキュン♡、バルーンアートなど子どもも喜んでます。
- AED 体験指導してくれる方が親切に教えてくださって体験してよかったです。

お子さんに人気のバルーンアート

明治出張所の救急隊による AED 体験

一代記

或る外科医の一代記　子供の頃⑥

理事長　長田 博昭

昭和も20年代の後期、父は日曜日なんぞに往診鞄を持って何軒かの家に往診に行くようになった。何度もお供をした。あるお屋敷風のお家には脊椎カリエス（結核）のきれいなお姉さんがお座敷に敷いた布団に寝ていた。

診察の後、父が廊下に準備された洗面器の手洗い水を使うのを見て帰るのであるが、ある日お供の私にお姉さんが「三銃士」（「ダルタニャン物語」だったかも知れない）の全11巻本を下さった。父は家の物干し台で全部を数日間天日干しにしてから、読んで良いと言ってくれた。長編ながら食い入る様に読み進み、読了したのは中学に進んでからであったが、男の条件として、智・勇・仁それに美の4つがあるのだと納得したものである。「美」の方は登場人物の銃士アラミスに象徴されるファクターであるが、現代風に言えば「愛」なのであろう。そしてそれは女性に言わせれば「優しさ」となるのだと理解できる様になったのは随分経ってからの事である。

小学5年生の頃、小学校の生徒会の役員の学外での会合に先生と共に「出張」した。何を議論したのか最早思い出せないが、その時の自校の先生のコメントが忘れられない。「長田、お前の声は籠っていて聞き取りにくい、大きな声でものを言え。」それ以来、今でも相手が私の言う事を聞き返して来る時、「声が籠って聞き取り難いでしょう、済みません。」と言ってしまう。外来の患者さんに対してもそんな事は屡である。でも最近は患者さんのお耳も遠いのだからと内心ほっとする事も増えて来た。

小学6年生の夏、大阪湾で毎日新聞社が水上機の遊覧飛行を始めた。その広告を見て、父に試乗を頼み込んだ。ボートで湾上の機に接近し、フロートから機内に乗り込んで操縦席の隣に座った。カメラを持ち込んでいたので、大阪の街を上空から撮影し、その写真を使って大きな区画を整理し高層住宅を建てて空き地を緑化するなどと言う都市計画まがいのレポートを400字詰めの原稿用紙10枚位に書いて学校に提出したのを覚えている。

今思えば発想が単純でなってないとは思うが、いまだに雑然とした東京や横浜の街を見るたびに同じ様な「妄想」に陥るので、人間の性格は子供の頃から変わらないと感じる次第である。

苦労人であった父とは対照的に、母は裕福な開業医の娘として育ち、旧制女学校でふんだんに教育を受けた人であった。娯楽の殆ど無かった私の小学時代、母は当時出版が開始された講談社の「世界名作全集」を買ってくれた。月に1冊程度の速度で、「宝島」とか「鉄仮面」それに「15少年漂流記」や「源平盛衰記」など、今思い出しても胸躍る名作を4～5年間読み耽ったものだ。「宝島」など繰り返し20回以上も読み返した。海賊達が船上で仲間割れの喧嘩の際、ラム酒の瓶を叩き割って武器とする下り等では、上手く刃先がギザギザになるのだろうかなどと空想に耽った事を覚えている。

後年、国際心臓胸部外科学会でカリブ海のプエルトリコに行ったとき、ラム酒の国際シェアの大半を占める会社の製造工場を見学にいった。ガラスの瓶を見て、こんな瓶を割って逆手に持てば確かに良い武器になるだろうなと頷いたものだ。

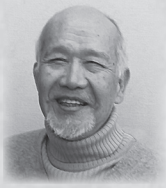
音楽会にも母は私を連れて行ってくれた。大阪の復興が進み、松竹映画会社が経営する松竹座と言う劇場のステージに外国のオーケストラが来た事があった。金管楽器の鮮やかな金色にみとれていると、やがて始まったのが「カルメン」であった。複数の楽器が織りなす音のすばらしさと段々に高まって行くリズムとボリュームとに胸が高まり感動した。母は、拍手の仕方でもう一曲演奏させるのよ、それをアンコールと言うの、とか、楽章の間のインターバルには拍手しないものよ、とか、色々作法を教えてくれた。その母も、随分前にあの世へ行ってしまったなぁ、

桜の早かったあの年の3月の末に・・・

次号へつづく

街のリセット

話の道草



宮原 昭夫

「街がどんどん変わっていくね」「前何があったのか判らないね」。

小学一年生の女の子たちがこんな会話を交わしていた、との記事を昨年某新聞の投書欄で読みました。六、七歳のチビさんにさえ今の街はそうなのですね！

なにしろ現代の宅地造成のスケールときたら「兎追いしかの山」はブルドーザーで真っ平らな更地になり「小鮒釣りしかの川」は埋め立てや暗渠で跡形もなく地上から姿を消すという凄まじさです。いまに全国どこへ行っても故郷というものは消え失せてしまうのかも知れません。

ところで、故郷という概念が一般化したのは明治時代になってからだという説を目にしたことがあります。それまでは、人口の大半を占めていた農民は封建制度のもと土地に縛り付けられていました。そうでないのは、少数の、旅芸人や商家の奉公人、藩の江戸お留守居役など、限られた人種だったのです。

故郷とは、日本人の多くにとっては、初めて明治維新で移住の自由を得てからの概念なのかも知れません。だとしたら、それは思いのほかに新しい、歴史の浅い言葉なのかも知れませんね。

改めて思えば、私の生まれ故郷の横浜の変貌についての最初の記憶は、小学校時代の「家屋強制疎開」でした。空爆の延焼を食い止めるため、家屋の密集した地域の真ん中を貫通して広い空き地を作れというお達しにより、有無を言わせず住宅も店舗も、片っ端から引き倒されたのです。

朝通学の途中、下町を通りかかると突如、お馴染みの路地が途中からぶった切られて、昨日まで影も形もなかった、だだっ広い大通りが目の前に出現し、一瞬方向感覚が狂う、などという体験が、殆ど日常茶飯事でした。（ちなみに、後日実際に空襲が始まると、街はあっさりと見渡す限り丸焼けになりました。）

というわけで、そんな対策も空しく、私の小学生時代までの思い出の風景は一九四五年にそっくり消滅してしまったのです。

だが、それだけではなく、私にとっての第二の街の変貌は、その二十年くらい後に訪れました。

私の住む地域にとってお馴染みだった横浜駅西口の風景は、戦前戦後を通して砂利置き場と材木置き場のある空き地でした。むしろ税務署や郵便局などがあった東口が横浜駅の表側でした。

私が生まれて以来ずっと場末っぽかった裏側に、突如西口商店街が出現し、いきなり駅の表側になってしまった際に、私の覚えたのはむしろ喪失感でした。

しかしその後、今度は横浜駅の東口が、西口を凌ぐリニューアルを果たしました。

藤沢に居を移してから半世紀、たまに横浜に赴く度に、私はまるで異国へ旅しているかのような、殆ど二日酔いのようなものを覚えます。

だが街の変貌というものは、現代だけの現象ではなさそうです。例えば江戸の名物といったら火事で、二六七年間に大火が四九回、それ以外にも一七九八回の火事がありました（ウイキペディアより）。

つまり、五, 六年に一回大火があり、その他に年に六, 七回火事があったことになります。

江戸は世界でも類例のない「火災都市」と呼ばれて来たのも当然と言えましょう。

庶民は寝具や家具の殆どをレンタルで賄って常時火事に対処していたとのことです。つまり、街は止め処なく変わる、ということを常識として庶民は生きていたということですね。

もしかしたら江戸時代のチビさんたちも、この冒頭のような会話を交していたかも知れませんね。

「浮世絵で識る藤沢」

第10回「夏は大山（阿夫利山）、山開き」

藤沢市 藤澤浮世絵館　細井 守

江戸時代の藤沢宿が大山阿夫利神社参詣の起点（四ツ谷の立場を経由）であった様子は、この連載第一回にご紹介しました（保永堂版東海道）。江戸時代の大山の頂上への登山（参詣）時期は、「夏山（七月二十七日～八月十八日。旧暦時代は六月二十七日～七月十八日）に限られていましたが、どうやら「春山（四月五日～四月二十日）」も行われていたようです。

図1 渓斎英泉「東海道 七 藤沢宿」

図1は美人画で有名な渓斎英泉の東海道五十三次シリーズのうち「藤沢宿」。図左奥の鳥居が藤沢宿にあった江の島一ノ鳥居です。旅姿の女性の右側には、宮戸連（俳句の結社）其生の「此しゆく（宿）にゆかりの色や杜若（かきつばた）」という句が添えられて、画面の季節が正に春山の時期に当たる「初夏」であることが暗示されています（杜若は、燕子花とも書いて初夏の季語）。鳥居の周りには、これから参詣へ向かおうという若者たちが集まっています。なお、手前の女性が着物を重ね着しているのは、防寒ではなく、ちり除けや合羽代わりに旅装として浴衣を羽織ったものです。

図2 歌川広重「東海道五十三次之内 藤沢」（行書東海道）

図2は藤沢宿を通る大山詣りの一行を描いています。保永堂版東海道（広重画）と逆のアングルで、一行は大鋸橋（現、遊行寺橋）上を江戸へ帰っていくところでしょう。そろいの三度笠をかぶり、先頭は御神酒枠（おみきわく。大山から水や酒を持ち帰るための容器）を担いでいます。肌脱ぎし、団扇を持った姿が、いかにも夏山帰りの風情です。右手の「弁才天」の札が掛かった鳥居の先が江の島道ですが、鳥居のたもとには今も残る「江の島弁財天道標」も描かれています。この道標は永らくここに在りませんでしたが、近年、歩道の改修に合わせて浮世絵に描かれている（江戸時代に在った）と思しき場所へ移設されました。

◆アクセス◆

JR「辻堂」駅東口改札北口出口から徒歩5分

藤沢市
藤澤浮世絵館
FUJISAWA UKIYO-E MUSEUM

開館時間　10：00～19：00
休 館 日　月曜日
※月曜日が祝日の場合は翌平日が休館
年末年始（12月29日～1月3日）
※その他、展示換えの為の休館日あり

TEL：0466-33-0111
藤沢市辻堂神台2-2-2 ココテラス湘南7階

入館料無料

投書箱から

●今回は、投書箱からの回答に代え、お知らせを載せさせていただきます。

7月1日（月）より、医療サービスの向上と、病院業務の効率化を図ることを目的とし、**オーダリングシステム**を導入します。このシステムは、検査・処方などに係わる情報伝達システムで、医師のオーダ（検査内容・処方箋）を電子化し、関連部門の業務と連動するため、診療から会計までの処理が迅速化されます。

また診察後の会計の待ち時間短縮を図るため、受診当日の外来診療費を**自動精算機**で支払うことができるようになりました。機械の取り扱いが不安な場合は、会計窓口でも支払いが可能ですので、お申し出ください。

なお、入院費・過去の未納金・クレジットカード分割決済分、時間外診療費については、今まで通り会計窓口でのお支払になりますので、ご注意願います。

導入当初は混乱も予想され、ご迷惑をお掛けするかもしれません。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

統括事務部長　伊藤　稔

おしらせ

◆7月の外来診療担当表◆

2019.7.1 現在

専門外来

	午前・午後	月	火	水	木	金	土
内分泌（糖尿病）	午前 午後		酒井（午前）予約		酒井（午前）（午後）予約		酒井（午前）予約（第3.4）
呼吸器内科	午前	福﨑 予約					
肛門外科	午後	松﨑					
日帰り手術外来	午前						松﨑 予約（第1.3.5）
胸部 化学療法 外来	午前		長田 予約				
外科 呼吸器	午後					長田 予約	
乳腺甲状	午前			○			
皮膚科	午前			露木			
心療内科	午前				三吉 予約		
神経内科	午前 午後					松川 予約	
リハビリ科	午後	馬渕 予約					
リウマチ科	午前						永渕（泰）予約
緩和ケア科	午後	福﨑（午前）予約		片町 予約		片町 予約	
禁煙外来	午後	小川 予約	小川 予約		小川 予約	小川 予約	小川（午前）予約（応相談）

一般外来

	午前・午後	月	火	水	木	金	土
内科	午前	村川 一般	岡田 一般 循環器	新城 一般	岡 一般 神経内科	新城 一般	岡 第1・3・5 新城 第2・4
		岡 一般 神経内科	岡 一般 神経内科	岡田 一般 循環器	永渕 一般	永渕 一般	永渕 第1・3・5 岡田 第2・4
		-	-	-	相澤（予約）	相澤（予約）	相澤 第2（予約）
	午後	奥脇（裕）一般 消化器	永渕 一般	-	新城 一般	村川 一般	-
		岡田 一般 循環器	-	-	-	相澤 第1・3・4・5（予約）	-
外科	午前	呉	池田（清）	呉	長田	松﨑	松﨑 一般 第1.3.5は日帰り手術外来併科（予約）
	午後	松﨑 一般 肛門	長田	-	呉	池田（清）	
		-	-	-	-	長田 一般 呼吸器	-
整形外科	午前	池田（全）	森田	池田（全）	芹ヶ野	中島	芹ヶ野
		今井	今井	山本	今井	（輪番制）	森田
	午後	芹ヶ野	森田	-	池田（全）	今井	-
		-		-	-	-	-
泌尿器科	午前	多田	多田	多田	多田	多田	多田（花井）
	午後	-	多田	-	-	-	-
夕方診療	午後	-	呉 4:30~7:00	-	-	-	-

外来診療受付時間	午前　8：30 ～ 11：30 ※再診受付　午前 8：00 ～ 午後　2：30 ～ 4：30
休　診	水曜午後、土曜午後、日曜日・祝日

※医師の都合等により休診・代診となる場合がありますので、事前にお問い合わせ下さい。

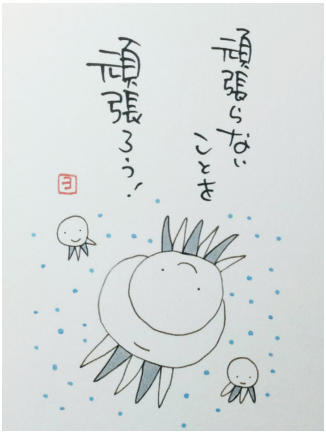
地域とつながる nurse
「あったかい看護」がある
看護職員・介護職員募集中！

湘南中央病院 今月のギャラリー（2019年7～8月）

辻堂水族館

お魚、海の生き物、海の風景などをモチーフにイラスト・雑貨等を制作しております。とぼけた表情のキャラクター達に、心をいやし元気を与える、そんなコメントを添えて、皆さまに「ほっ」と楽しんでいただくことができれば幸いです。

２年ぶりの展示です。新作も多数ございますので、ぜひご覧ください。



お魚イラスト工房・辻堂水族館　横山康之

連絡先：090－8118－6931
E-mail:tsujidousuizokukan@ybb.ne.jp

編集後記

このたび、わかば編集委員になりました柳貴美と申します。透析センター勤務をしております。よろしくお願いいたします。

令和になり2ヶ月が過ぎましたが《令和》という年号に慣れましたでしょうか。思えば、昭和から平成になった時、私は学生でした。冬休みが1日2日長くなり、ちょっぴり喜んだことを覚えています。

今から数十年後、さらに新年号となった時、「令和が始まった時、世の中は10連休だったけど仕事をしていたなぁ」って事だけ覚えているのだろうと思います。なにはともあれ、令和の時代が平和であることを願います。

（看護師　柳　貴美）

健康ニュース『わかば』へのご意見・要望、感想などお気軽にお寄せください。
また、バックナンバーは、ホームページにて公開しております。（http://www.swg.or.jp）閲覧できない方は、お気軽にお問い合わせください。
『わかば』編集委員会　事務局